

2004年5月8日

高校生は精神的貴族をめざそう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 精神的貴族とは何ですか。

A (林明夫。以下省略)自分のためだけではなく、自分以外の他人のためにも生きようと決意し、強い意志(いし)のもとに、その志(こころざし)を持続している人を、私は「精神的貴族」と呼んでいます。

**Q 自分のために生きるだけでも大変なのに、自分以外の他人のために生きることなど考えられません
が…。**

A 学年を経るごとに勉強の内容が極端に難しくなり、また、部活動で多忙を極める高校生の皆様にとって、他人のことまで考える余裕がないことはよく理解できます。

ただ、高校生の時に、難しい勉強に取り組んだり、激しい部活動に打ち込んだりするのを自分のためだけだと考えるのは、余りにももったいない気が私にはするのです。知識を身につけ、身体を鍛える目的の一つに、他人のためにも生きるということも加えて頂きたいと思います。

Q なぜ林さんはそんなことを言うのですか。

A キラキラ輝いて一生を過ごしてもらいたいからです。自分のために生きることも大切ですが、他人のためにも生きることで、その輝きが増すと思います。

勉強や部活動に励むにも、自分のためにということに加えて、自分以外の他人のために行うのだと考えた方が輝きの度合いや美しさが増します。

Q 他人のために生きるとはどういうことですか。

A 他人の幸せを願って生きることだと思います。自分と同様、自分以外の他人にも幸福な生活を送ってもらいたい。そのために、自分のできる範囲のことをさせて頂く。これが、他人のためにも生きるということだと私は考えます。

Q 他人のためにも生きるにはどうしたらよいのですか。

A 他人のためにも生きるその前に、まずは、自分自身しっかりする必要があります。そのためには、高校生のうちから自分でできることはできるだけ自分でする訓練をすることをお勧めします。朝起きてから夜床に就くまでの時間を、よく考えた上で過ごすように心がけると高校生としてのいい訓練になります。

勉強や部活動に励むことも素晴らしいですが、その中で、美しい立居振舞い(たちいふるまい)と敬語表現を含む言葉遣いにも是非高い関心を向けてください。自分は他人からいつも見られていて、

自分の言葉遣いを通じて他人は自分を理解するものだからです。自分自身の人格そのものが立居振舞いや言葉遣いに表れるのだと自覚し、それらを高校生のうちに身につけて頂きたいと思います。自分自身を誤解されることなくどう他人に表現するか、そのための手段が、美しい立居振舞いと敬語表現を含む言葉遣いです。

Q 他人の幸せ、幸福な生活を願って生きるためにはどうしたらいいのですか。

A 他人のことを思いやれるほど自分自身の精神・情緒が安定していることが大前提ですが、これに加えて、他人のために生きるに値する能力も強化しておく必要があります。他人のために一番有益なのは、他人が抱える問題の解決に少しでも役に立つことです。そのためには、自分自身でも相当な能力を身につけていなければなりません。このような意味での能力強化(エンパワーメント)が必要と私は考えます。

Q 能力強化(エンパワーメント)をはかるにはどうしたらいいのですか。

A 使命感(ミッション)を短い文章にまとめ、手帳に書き記し、毎日眺めて自分自身を奮い立たせること、強い使命感のもとに毎日の勉強や部活動に励むことです。自分の生活の他に他人の問題解決までするには、気力(強い使命感)と確かな知識に裏打ちされた技術、最終的には強い体力の3つが欠かせないからです。

Q ところで、林さんはなぜ「精神的貴族」という中世に出て来そうなことを現代の高校生に求めるのですか。

A 昔は出身や家柄で「貴族」になるか否か決まったようですが、私は、「貴族」とはもともと「貴い人々」を意味し、何をもって貴いといえるかといえば、自分のためだけではなく、自分以外の他人のためにも生きるから貴いと考えているからです。それは、出身や家柄とは一切関係ありません。他人のためにも生きようと決意し、持続する志のある人は誰でもなれるのです。

高校生の多くの皆様は、自分は将来どのように生きてらよいか真剣にお考えになっていると思います。人生を真剣に考える方ほど悩み抜いていると思います。加えて、他人のためにも生きる志を持つ人という意味での「精神的貴族」について、是非高校生の皆様にも考えてもらいたいと思います。

Q 最後に一言どうぞ。

A どのような生き方をすることが自分にとって理想(夢)なのか、その生き方を、自分の「ライフ・スタイル」と私は呼んでいます。高校生の皆様は、是非、高校を卒業して人生の終わりを迎えるまでの100年間(そうです。皆様は「気をつければ」120歳位まで生きられる時代に生きておられるのです。)どのような生活がしたいのか、自分にとってのライフスタイルをお考えください。理想や夢は念じ続けて、又、そのための準備をし続けて初めて実現します。そして、皆様の「ライフ・スタイル」の中に、他人のためにも生きる人という意味での「精神的貴族」になることも入れて頂きたいと心から希望します。

最後に一言。「精神的貴族」になるのに、「年齢」や「性別」は一切関係ありません。他人のためにも生きようと決意し、行動を心がけた瞬間に、「精神的貴族」にいつでも、誰でもなれます。高校生以外の方も是非「精神的貴族」をめざしてください。私も頑張ります。